

R1 第 2 回こうち男女共同参画会議 委員意見整理表

議題	項目		会議での委員発言			ご意見への対応			
	分類		発言者	要 約		対応	詳細	内 容	所管課、関係課
(1) とうち男女に共同して画プランの進	目標値	多機能型保育所等設置箇所数	1	中川委員	進捗はしているが目標値40か所にはほど遠い。人手不足の現状の中で進捗が難しいのであれば、次回計画の際には考慮に入れるべき。	検討中	次期プランに反映	目標値の見直しも含めて検討中。	幼保支援課
	目標値	県職員の男女共同参画・女性問題に関する研修への参加所属数	2	沖田委員	セミナーに参加できていない所属があるということ自体が問題ではないか。特に管理職クラスの職員の方はぜひ参加して、各所属でリーダーシップを発揮していただきたい。	有	現行プランの取組を継続	引き続き、各所属から1名以上の出席を呼びかけるとともに、特に管理職員等の参加を促し、職場での研修内容の共有を徹底する。遠方や少数の所属で参加者の確保が難しいという点については、WEBを活用した研修を検討する。 なお、目標値については県民全体に影響するものへ見直し。	県民生活・男女共同参画課
	目標値	県職員の男女共同参画・女性問題に関する研修への参加所属数	3	野嶋会長	(2に関連して) どのような理由によって参加が難しいのかをもう少し明確にして、管理者にロールモデルになってもらうような働きかけが必要ではないか。				
	目標値	県職員・県立学校教職員の男性職員の育児に係る休暇等	4	濱田委員	特に、教職員に関する数字が非常に低いのは、教職員の多忙が原因と思われるので、この問題も考えた方が良い。	有	別の計画で取り組む	制度を活用しやすい職場環境とするためには、教職員の多忙化解消が必要であることから、別途策定の第3期高知県教育振興基本計画において、業務の削減や効率化など、学校における働き方改革の取組を推進する。	教職員・福利課
(2) 計画の進捗状況について	取組	市町村への支援	5	中山委員	計画も策定されていない町村がある。県の各機関の力添えて、策定してない市町村がないようにしていただきたい。高知県のどの地域に住んでもしっかりとサポートが受けられる体制を望んでいる。	有	現行プランの取組を継続	各市町村のDV被害者支援計画の策定が進むよう、働きかけを継続。	県民生活・男女共同参画課
	取組	若年層の予防教育	6	金川委員	デートDVについての件数(出前講座)が少ないと思う。小学校からデートDVの教育をしていただきたい。	有	要望に応じて対応	要望があればどの対象でもうかがって男女共同参画などで諸々話をすることはできる。教育委員会にも働きかけている。	ソーレ
	取組	若年層の予防教育	7	金川委員	小中学校の教員人材を充実していただいて、幼少期からDVに関する教育をしていただきたい。	有	次期プランに反映	PTA人権研修の「女性の人権」「子どもの人権」においてDVに関する内容を盛り込み、保護者や教職員に情報提供を行い、未然に防止する取組を提案する。 また、教職員の校内研修において、「いじめ・虐待」について、毎年必ず実施するよう要請しており、暴力を許さない意識を高めている。 以上からDV等に関する知識を持った教職員を増やし、児童への啓発につなげる。	人権教育・児童生徒課

議題	項目		会議での委員発言		ご意見への対応				
	分類		発言者	要 約	対応	詳細	内 容	所管課、関係課	
(3) 女性の活躍の場の拡大の取り組み状況について	全体像	高齢者の活躍の視点	8	和田委員	高齢になった女性の活躍の場が失われることのないように考えていく必要がある。資料の中にもどんどん盛り込んで欲しい。	有	次期プランに反映	・「3環境を整える」(3)に人生100歳時代を見据え、学び続け、活躍し続けられる環境の整備として「生涯学習の活性化の推進」を追加。	県民生活・男女共同参画課 高齢者福祉課 生涯学習課 等
	全体像	高齢者の活躍の視点	9	野嶋会長	(8に関連して、社会全体で子育てしながら働く女性を支援する仕組みを整えるのが主要なテーマで、働くというところにウエイトが置かれていることは理解しているが) 高齢になったときの働き方、社会への参画の仕方は色々あり、様々な形での活躍の場もある。必ずしも伝統的な意味での働くということだけではないのか。	有	次期プランに反映	・「3環境を整える」(3)に人生100歳時代を見据え、学び続け、活躍し続けられる環境の整備として「生涯学習の活性化の推進」を追加。 ・男女共同参画プラン全体・各テーマごとの目指すべき姿と、女性活躍の重点施策を切り分けて設定。	県民生活・男女共同参画課 高齢者福祉課 生涯学習課 等
	柱3	福祉・介護職場への就労支援	10	半田委員	介護・保育分野は人材不足ということもあって、専門職の専門性は高めつつ、裾野を広げようとしている。業務を切り分けながら、介護の知識・技術はないけれども介護助手として参加できる仕組みが、介護分野に加えて福祉など他の分野、他の業種とかにこれから必要になってくるのではないかと思う。	有	次期プランに反映	「2場をひろげる」(2)②福祉・介護職場への就労支援に「介護助手導入支援事業」を追加。	地域福祉政策課
						検討中	次期プランに反映	具体的な取り組みの強化を検討中。「3環境を整える」(1)①に追記予定。	幼保支援課
	その他	起業への支援	11	稲田委員	就職の支援だけでなく、起業や既存企業の事業承継などの方向性で働いてもらうという観点で検討を。資金面も含めてもっと支援体制を作ってもいいと思う。	有	既存の取組で対応	女性のメンターやアドバイザー等、女性が相談しやすい環境をつくるとともに、女性起業家の事例を紹介するなど。	産学官民連携・起業推進課
						有	既存の取組で対応	女性が相談しやすい環境をつくるなど、一定の配慮を行う。	経営支援課
						有	既存の取組で対応	ソーレとして直接の起業支援ではなく、県民企画事業・ソーレいど事業を通じて、側面から支援している。	ソーレ
	その他	起業への支援	12	野嶋会長	起業したい方に対する研修やニーズを持つ方が行けるところなど、相談体制を見える化した方が良い。	有	既存の取組で対応	今後は、県内支援機関との連携によりサポート体制を充実するとともに、各種広告媒体を活用した県内向けの広報・PRを強化していく。	産学官民連携・起業推進課
						有	既存の取組で対応	11に同じ	ソーレ

議題	項目		会議での委員発言			ご意見への対応			
	分類		発言者	要 約	対応	詳細	内 容	所管課、関係課	
(5) 次期改定このうち男女に共同参画	体系	介護支援	13	中川委員	現プランの中の3の「環境を整える」の中の(1)の「仕事と生活の調和」の中に、②の地域における子育て・介護支援の充実となっていて、仕事とワーク・ライフ・バランスの下に子育て・介護支援が入っているが、②を外側に出して、働いている、働いてないにかかわらず支援する仕組みづくりとしていただきたい。	有	次期プランに反映	ワーク・ライフ・バランスと育児・介護支援を切り離して体系を整理。(「3環境を整える」(1)①にあった男女がともに働きやすい職場づくりを「2場を広げる」(2)①に組み替え)	県民生活・男女共同参画課
	取組	介護支援	14	中川委員	女性が働いている人と働いていない人とで分断されている現状があり、働いている人に対する支援が手厚くなってきている中で、全体の男女共同参画が進まないという問題が起きているように思う。子育て支援も介護支援も社会的にバックアップすると、働いていない女性の中で働こうという道が作られるように思う。	有	次期プランに反映	ワーク・ライフ・バランスと育児・介護支援を切り離して体系を整理。(「3環境を整える」(1)①にあった男女がともに働きやすい職場づくりを「2場を広げる」(2)①に組み替え)	地域福祉政策課 高齢者福祉課
	取組	介護支援	15	中川委員	次は令和3年から令和7年の新プランになるが、令和7年は団塊世代が全員が75歳以上になり、介護が40代辺りの若者に重くのしかかる時代がスタートする。この準備について10年前ぐらいから言われているので、ぜひ介護支援の充実という部分に重点も置いていただきたい。	有	次期プランに反映	「3環境を整える」(1)②に「フレイル予防の推進」を追加。要支援・要介護状態にならないために、「健康」と「要介護状態」の間の段階と言われる「フレイル」について、運動・栄養・社会参加の3つを柱とするフレイル予防の推進に取り組む。	高齢者福祉課

議題	項目		会議での委員発言		ご意見への対応				
	分類		発言者	要 約	対応	詳細	内 容	所管課、関係課	
(5) 次期「こども男女共同参画プラン」の改定の考え方について	取組	性教育	16	半田委員	インターネットのいろんな情報を見られる中で、間違っている情報が入っている。子供たちへの性教育の重要性を感じている。	有	現行プランの取組を継続	「1 意識を変える」(2)「②学びの場での男女共同参画教育の推進」の取組のうち、思春期相談センターにおける相談事業や性に関する専門講師派遣事業等による性に関する正しい情報提供、関係機関との連携強化を継続していく。	健康対策課
						有	次期プランに反映	県教育委員会では、性に関する現状や課題と新学習指導要領で育成すべき資質・能力を踏まえ、学校における性に関する指導の内容や取組体制、配慮事項を整理し、発達段階に応じた性に関する指導の計画及び各指導項目の指導案を作成し、これまで以上に充実した性に関する指導を展開していくため、H21年に発行された手引きの改訂作業を行っている（R2年度中に完成予定）。 R3年度からは、各校において児童生徒の実態や課題に応じ、学校の教育活動全体を通じて、全ての教職員が課題意識を持ち連携を図りながら、県の現状や課題に対応した性に関する教育の充実を推進していくよう、研修会の開催などを通じた教員の指導力の向上も目指して取り組んでいく予定。	保健体育課
						有	要望に応じて対応	R2年度はCOVID-19の影響により中止となったが、「就学前の乳幼児とその保護者を対象に子どもたちへの性教育」の講座について、ソレで実施することは可能。乳幼児→学齢期→思春期（切れ目のない情報提供）	ソレ
	取組	からだところの健康支援	17	植田委員	治療と仕事の両立支援についてのコーディネーターの役割が周知されていない。また女性に関する例として、女性の不妊治療について職場には相談しづらい環境がまだまだある。企業に相談する立場のコーディネーターなど、このような機関があることの周知も含めて、この資料の項目に入れていただければと思う。	検討中	次期プランに反映	治療と仕事の両立支援コーディネーターの役割についてプラン本文中に明記する方向で検討中。	県民生活・男女共同参画課
取組	政治への参画	18	金川委員	物事を決めるところに女性議員を増やしていただきたいので、そういった視点も取り入れていただきたい。	有	次期プランに反映	「2場を広げる」の(1)①に政治分野の視点及び具体的な取組を追加。 (公的機関であるソレは、女性議員を増やすための直接的な働きかけは馴染まない。パリティ法や政治分野推進法の制度について、啓発することにとどめたい。)	県民生活・男女共同参画課 ソレ	

議題	項目		会議での委員発言		ご意見への対応			
	分類		発言者	要 約	対応	詳細	内 容	所管課、関係課
(5) 次期「こころち男女共同参画プラン」の改定の考え方について	取組	女性登用	19	太田委員 企業が女性に対して役員になる教育をしないところに大きな問題があり、女性が会社に居場所がなくなり、また家庭では自分が必要とされて、そこに居場所を求めて仕事を辞めていくという悪循環がある。企業に対しては女性職員の社員教育を充実させて管理職、役員になる知識を付けさせていくといった企業トップへの働きかけをお願いしたい。	検討中	次期プランに反映	民間企業等のトップへの啓発や意識改革について、具体的な取り組みの強化を検討中。	県民生活・男女共同参画課
					有	現行プランの取組を継続	ソーレは、企業トップへの働きかけとしてではなく、女性のエンパワメントとして側面から支援。	ソーレ
	取組	性教育	20	中谷委員 (16に関連して) 養護施設等への出前授業や、専門の講師等による性教育の授業をしていただければどうか。	有	右のとおり	教育委員会において、学校における性に関する指導の内容や取組体制、配慮事項を整理し、発達段階に応じた性に関する指導の計画及び各指導項目の指導案を作成し、これまで以上に充実した性に関する指導を展開していくことを予定しているため、まずは教育機関での性教育の実施を行うこととする。	児童家庭課
	体系	他の計画との整合性	21	沖田委員 この計画とは別に子ども・子育て支援推進計画もある。男女共同参画プランと同じような内容が重複している部分もあるので、その辺りを整理してうまく表現していただきたい。また、地域における子ども・子育て、介護支援の充実、子ども・子育て支援推進計画の中にも別立てで出てくる部分もある。その辺りもう少し分かりやすくしていただきたい。	有	次期プランに反映	・子育て支援は「高知県子ども・子育て支援事業支援計画及び高知県次世代育成支援行動計画」、介護支援は「高知県高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業支援計画」、健康支援は「日本一の健康長寿県構想」など、各所管課で計画を作成して取組を推進している。重複する部分もあるが、男女共同参画の推進という視点で必要な取組を抜粋している。 ・関連し、整合を図る必要がある計画については一覧にまとめ、プラン本体にも掲載することとする。	県民生活・男女共同参画課
	目標値	全体	22	沖田委員 保育やDVなど、県民全員に影響することに対して強い目標値を出して、強いメッセージを打ち出すような組立てにしていただきたい。目標値の温度差を付けて令和7年度には絶対にこの目標は達成するという強い決意を示すような目標値の設定の仕方をしていただきたい。職員の育児休業とか、男性職員の育児休業率とかは、どちらかというと県の内部で取り組むべき話。	有	次期プランに反映	・目標値を全体的に県民全体に影響するものへ見直すとともに、各分野を代表する数値目標を設定。 ・職員に関する目標値であっても、各計画で男女共同参画会議で進捗管理をすすと定めているものについては、従来どおり目標値として設定。(高知県職員子育てサポートプラン、女性活躍推法に規定する高知県事業主行動計画等)	県民生活・男女共同参画課 その他目標値担当課
	目標値	家庭における男女共同参画	23	濱田委員 家庭の中で男女共同参画を進めることに、弱さを感じる。数値的なプランの設定を新しく作っていただいて、家庭の中で男女共同参画を進める部分を強い形にしていだけたらと思う。	有	次期プランに反映	家庭生活における男女平等意識について、新たに目標値に設定。 具体的な取り組みの強化は検討中。	県民生活・男女共同参画課 ソーレ

議題	項目		会議での委員発言		ご意見への対応			
	分類		発言者	要 約	対応	詳細	内 容	所管課、関係課
画（5） ラ ン 次 期 の 「 改 こ う の ち 考 男 え 女 方 共 に 同 つ 参	モニタリング 指標	農村女性リーダー認定数	24 中山委員	「農村女性リーダー認定数」をもって進捗しているとはいいがたい。実際は農業に従事していない方も含まれているのではないかと。「認定農業者の女性の数」の方が重要だと感じるため、モニタリングの視点を再考願いたい。	有	次期プラン に反映	モニタリング指標を「農村女性リーダー認定数」から「認定農業者の女性の数及び割合」へ変更。 （農村女性リーダーは、主として農業に従事している方を要件に認定しているが、女性の経済的地位向上及び経営への参画促進を確認するには、「認定農業者の女性の人数が、より明確であるため。」）	環境農業推進課 農業担い手支援課
	取組	男性の意識改革	25 金川委員	女性に対して仕事、子育て、育児を頑張れというのが相変わらずある。男性の意識改革も重点的にしていただきたい。	検討中	次期プラン に反映	具体的な取り組みの強化を検討中。	県民生活・男女共同参画課 ソーレ
	取組	女性に対するあらゆる暴力の根絶	26 金川委員	加害者教育、加害者にならないための教育を行ってほしい。	検討中	別の計画 で取り組む	国の動きを見ながら、来年度の「高知県DV被害者支援計画」改定時に本格的に検討。	県民生活・男女共同参画課 女性相談支援センター